

信用保証トピックス (令和6年4月)

これまでの振り返りと今年度の取組について

■保証承諾、保証債務残高、代位弁済の推移

① 保証承諾の状況

- ▶ 令和2年度は、コロナ禍に伴うゼロゼロ融資による大規模な資金繰り支援の実施により、これまでの経済危機時等の実績を大きく上回る1兆3,396億円の保証承諾（過去最大）となりました。
- ▶ 令和3年度はゼロゼロ融資の反動等により保証承諾は減少しましたが、その後はゼロゼロ融資の返済本格化に伴う借換需要等により、緩やかな増加傾向となっています。

② 保証債務残高の状況

- ▶ ゼロゼロ融資の実施等により、令和2年度は1兆8,805億円となり、「中小企業金融安定化特別保証制度（金融安定化保証）」を取扱った平成10年度、同11年度に次ぐ過去3番目の水準となりました。
- ▶ その後は、ゼロゼロ融資の利子補給や返済据置等により、令和3年度、同4年度と微減にて推移していましたが、令和5年度は償還が進み、減少幅がやや増加しました。

③ 事故・代位弁済の状況

- ▶ ゼロゼロ融資の大規模実施により令和2年度は事故報告が大きく減少し、令和3年度の代位弁済は平成7年度以降最も低い水準となりました。
- ▶ しかしながら、ゼロゼロ融資をはじめとするコロナ関連融資による過剰債務を抱える事業者が多くいる中、原材料価格の高騰や人手不足の深刻化等を背景として事故・代位弁済は増加傾向に転じており、ゼロゼロ融資の返済が本格化した令和5年度はコロナ禍前の平成31年度を上回る水準となりました。
- ▶ 上記のように、現状、代位弁済が増加傾向にあります。今のところ過去の経済危機時の水準までには至っておりません。これは、ゼロゼロ融資の返済据置や利子補給などの支援措置のほか、当協会や金融機関による借換等の資金繰り支援やモニタリングに基づく経営支援の実施が背景の一つとして考えられます。



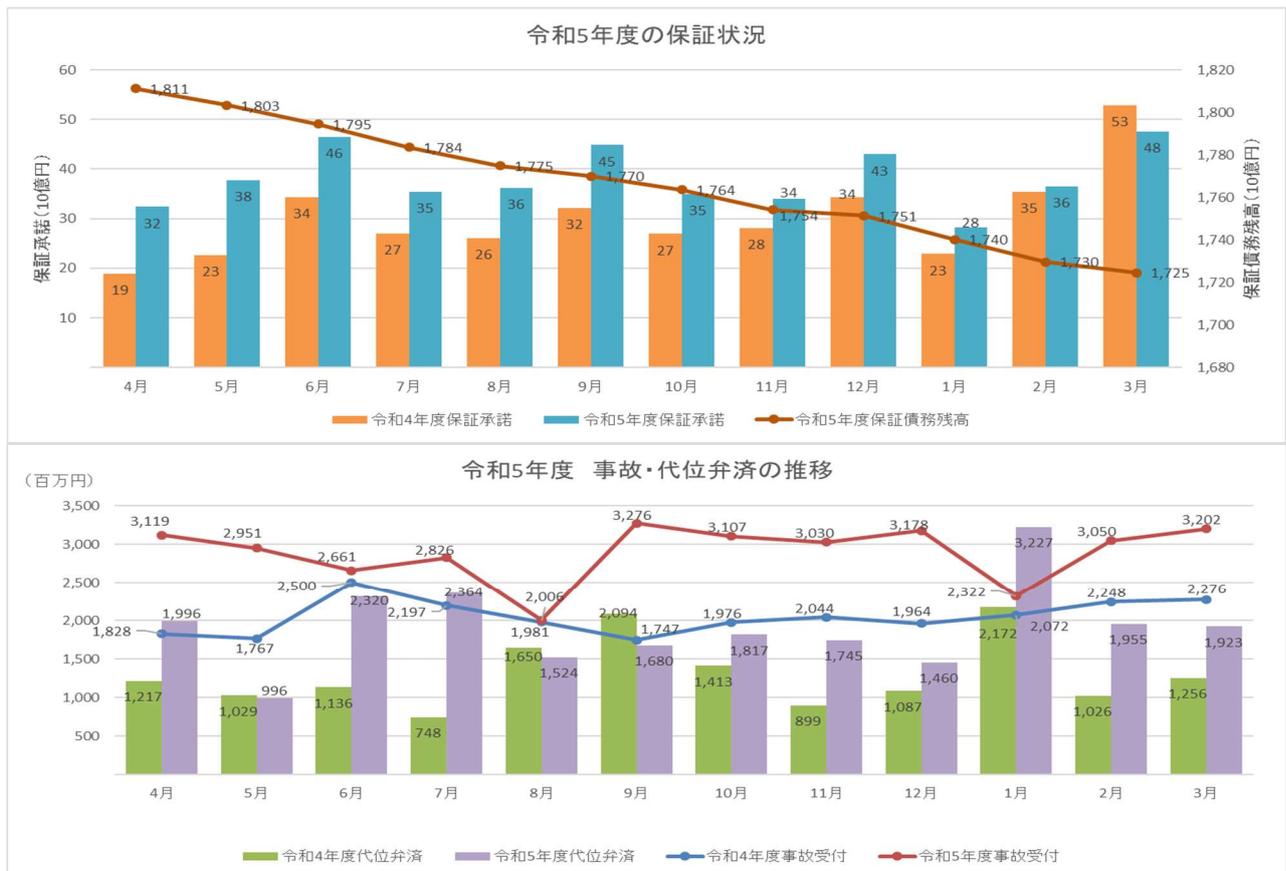
■令和5年度の状況

① 保証の状況

- ▶ 保証承諾は、3月を除き前年同月を超える実績となり、前年同期比で126.4%となりました。金額の半分近くは国の保証料補助（一部）が受けられる「伴走支援型特別保証制度」が占めています。
- ▶ 一方、保証債務残高は、前年同月比95.0%となり、減少傾向で推移しました。ゼロゼロ融資の返済本格化が進む中、償還が増加したこと等を背景に、減少幅も増加しました。

② 事故・代位弁済の状況

- ▶ 事故報告の受付は、前年同期比141.2%と大きく増加しました。ゼロゼロ融資の返済本格化や原材料価格高騰の影響等により、経営に支障を来している事業者が増加していることが伺えます。
- ▶ 事故の増加に伴い、代位弁済も前年同期比146.3%と大きく増加しましたが、過去の経済危機時と比較すると増加幅は緩やかになっています。これは、返済据置や利子補給、さらには借換等による資金繰り支援や経営支援が要因の一つと考えられます。



■令和6年度の当協会の取組

- ▶ 今年度についても、慢性的な人手不足や原材料価格の高騰など事業者を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、引き続き事故・代位弁済は増加傾向で推移する恐れがあります。
- ▶ 事業者支援のフェーズが資金繰りから経営改善・事業再生に移行する中、当協会では、資金繰り支援にとどまらない、一歩先を見据えた早期の経営支援に取り組むため、金融機関や関係機関と緊密に連携し、事業者寄り添いながら、以下の項目を重点的に実施し、積極的に事業者支援に取り組みます。

- ✓ 保証時の実地調査と保証後のモニタリングによる「対話型支援」を推進し、ポストコロナ時代を生き抜くための前向きな取組に挑戦する事業者を支援します。
- ✓ 協会が主体となった「フォローアップ型」経営支援を推進し、経営課題を抱える事業者の経営状況の把握と課題の解決提案に努めます。

